

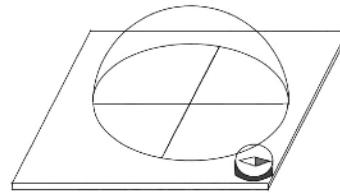
1天体の1日の動き

Step
1

太陽の動き

実験 透明半球に太陽の一日の動きを記録数する。

- ① 図のように、白い紙に透明半球と同じ大きさの円をかき、中心を決め、そこに直交する2本の線を引く。方位磁針で東西南北を合わせて透明半球を固定する。



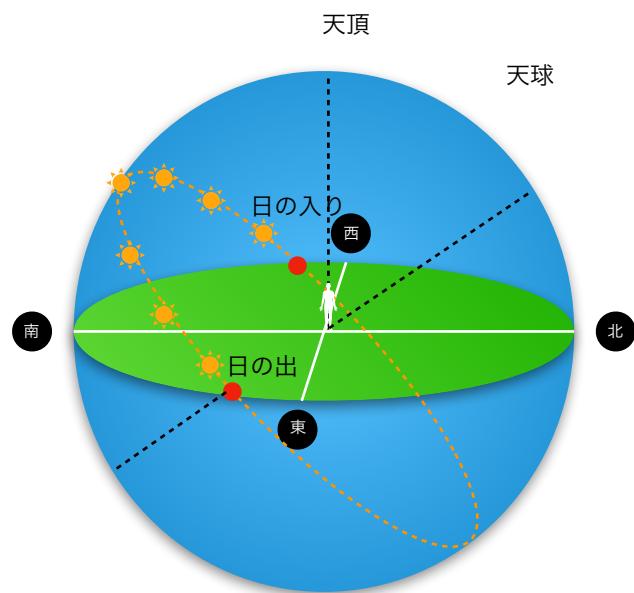
- ② 油性ペンの先端の影が円の中心と一致する透明半球上の位置に印とその時刻を記入する、1時間おきに記録する。

Check !

- 太陽を観察すると、大きな丸いてんじょうを移動しているように見える。この丸いてんじょうが地平線の下にも続いていると考えた大きな球面のこと。



- 観測上の真上の点

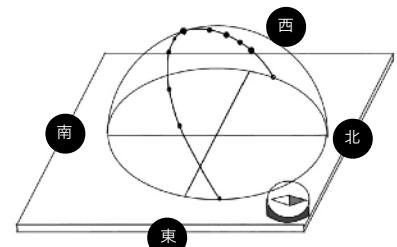


結果

Q1：印の間隔がほぼ同じことから、どんなことがわかるか。

A1：太陽の動く速さが（ ）であることがわかる。

まとめ



- 太陽は（ ）からのはり、昼ごろ（ ）の空で、最も高くなる。これを太陽の（ ）といい、このときの高度を（ ）という。
- 南中を過ぎると太陽はしだいに低くなり、夕方（ ）の空に沈んでいく。このような太陽の動きを（ ）運動という。